



令和2年度(2020年度)学校教育目標

自ら学び、心豊かに、たくましく未来を切り拓く生徒の育成

校訓【自主・友愛・健康】

玉名市立天水中学校だより 第6号

安全・安心な学校づくりのために＝3つの面から

【学習面＝学力保障】

臨時休業(休校)が長引いたことで生徒さんの学習面での遅れを心配されている保護者の方もいらっしゃるかと思います。

学校再開にあたり、感染症拡大防止と学力保障のためにさまざまな工夫が凝らされています。その中で、授業はまさにコミュニケーション(聞く、話す、読む、書く)ですが、ペアでの意見交換は指を使うなどの言葉以外の方法も取り入れられています。臨時休業(休校)中に先生方がされてきた入念な準備、教材づくりの成果が発揮されています。大人数の2年生に限らず、各教科担当が学習形態を工夫したりICTを駆使したりすることが当たり前のようになっています。生徒さんもそうした先生方の思いに応えるべく真剣な授業態度です。

【登下校の場面＝梅雨入りを前に】

写真は6月8日と10日の昼休みの様子です。梅雨入りを前に自転車点検を終えました。登下校の場面での安全・安心のために右の図を使って各学級でも指導しています。



【自然災害の場面＝想定外を想定して】



5月26日午後、校内研修として地震・津波・大雨・洪水等の自然災害が発生して保護者の方に生徒さんを迎えに来ていただく必要性が出た場面を想定して、【引き渡し訓練】を行いました。訓練では想定するパターンが多岐にわたることがあります。そのため、想定を細かく限定する必要があります。今回の訓練でそのことを理解できたのが、第一の収穫でした。これを踏まえ、保護者や地域の皆様の経験や知恵もお借りしながら、防災主任を中心に全教職員で課題を整理するとともに対策案を今後も見直し続けていきます。